

第36回大阪府作業療法学会 事前企画

伝えたい!! 第36回大阪府作業療法学会の魅力

抄録作成のポイントと査読ポイント

第36回大阪府作業療法学会事前企画として6月17日にナイトセミナーが開催されました。

藍野大学から塚越千尋さん、阪奈中央リハビリテーション専門学校から宮本年也さん、大阪保健医療大学から林部美紀さん（話し手順）を講師としてお招きし、抄録作成にあたってのポイントについてお話を聞かせていただきました。また、牟田学会長より今回の学会開催にあたり、肩肘を張らず気軽に学会発表に挑戦欲しい旨をお話ししていただき、終始和やかな雰囲気の中でナイトセミナーが開催されました。

セミナーの内容をまとめさせていただきましたのでぜひご一読ください。

抄録作成のポイント

◎演題採択基準

1. 演題内容に関わる論理的事項が遵守されている
2. 本学会の「演題募集要項(書式等)」が遵守されている
3. 論文構成や表現などが適切である
4. テーマや内容に創造性や独自性があり作業療法の発展に貢献すると判断される
5. 方法・器具などが具体的に記載されている
6. 同一もしくは類似演題名で他学会などにおいて発表されていない

上記は募集要項に記載されている演題採択基準です。

演題が採択される大事なポイント

その1：演題内容に関わる論理的事項が遵守されているか

学会発表にあたって、対象者の方に説明をしているか・同意を得ているかについて記載が必要です。

＋α…所属施設に論理審査委員会がある場合、審査を受けたことを記載する（この記載があると尚良い）

【書き方例】

- ・対象者には事前に学会報告の趣旨について口頭(書面)で説明し同意を得た。
- ・〇〇病院 論理審査委員会の承認を得ている（承認番号△△2022）

△注意したいこと

・どうしても対象者の方は「リハビリをしてもらおう立場」となり本当は嫌でも断りにくいと思っているかもしれません。本当にいいかどうかお互いに納得できるよう、丁寧に説明を行ってください。

・中堅からベテランの方で臨床的な介入研究を発表される場合、『リハビリ介入をする群と介入しない群に分けて効果判定をする』のような一方の群の対象者にとって不利益となるような研究手順とならないようにしてください。

上記2点について、査読者は「演題は論理的事項を守っているか」を評価します。
また、演題に【書き方例】で示したような論理的事項に関する記載を必ずしてください

その2：学会の「演題募集要項(書式等)」に沿って必要な項目が漏れなく書かれているか

- ・本文(演題名・筆頭演者・共同演者・所属・キーワードを除く)の文字数は全角 1500 文字以内
- ・図表等は入力できません

・項目

はじめに
症例紹介 or 目的
論理的配慮
初期評価
介入 or 方法
最終評価 or 結果
考察

ホームページの「演題登録」ボタンから進んでいただき、基本情報(演題名・演者氏名・所属・キーワード)を入力後、大きな四角いエリアに 1500 文字以内で書式にある項目を漏れなく書いてください

事例検討会と学会発表の違いは？

事例検討→介入時に困っていることを発表しても OK

学会→新規性・これまでの報告を発展させた内容を発表

★新規性 ★発展

- ☆これまでに報告されていなかった症例の報告
- ☆従来の報告にないアプローチを報告
- ★従来のアプローチにエッセンスを加える
- ★従来の理論を否定できる材料の発見

Ex) 100 人に実施すると 10 人しか効果が出なかった→一定の効果が得られる可能性が低い

※新たなアプローチをして思っている結果が出なかったら…

いい結果が出たものだけを発表する必要はありません。なぜ結果出なかったか、経過や変化があったことなどについて考察し、考察したことを発表してください。

知っておきたい抄録作成のポイント

- ・ 枠組みの明確化：どの枠組みで見たのか
- ・ タイトル
枠組みと新規性を一言で説明する。トピックや珍しいことを強調し、タイトルでしっかりアピールする。タイトルは「この話を聞きたい！」と思ってもらえば『掴み』です！
- ・ 研究の目的を明記する
- ・ 書式にある各項目（はじめに、目的 etc…）の文字数は全体のバランスを考えて調整する
- ・ 有名でない略語の使用は控える
- ・ 「各種検査」など曖昧表現は使わない
- ・ 抄録内で文献考察をしない
- ・ 研究で見出したことについて端的に述べることを心がける

参考文献 國松淳和：初めての学会発表 症例報告 中山書店

最後に...

一人で発表に臨もうと考えず職場の先輩や同期、母校の先生等たくさんの人に協力してもらうことがより良い発表や学びに繋がっていくと話していただき、みんなで作り上げていくものなのだと感じました。

学会発表を考えている方だけでなく、学会発表に挑戦しようか迷っている方や文章のまとめ方に悩んでいる方等「たくさんの方々に聞いていただきたい！」と感じる内容のセミナーでした。ご好評につき、再度聞く機会がやってくるかもしれません！HPやSNSで情報を更新してまいりますので是非、チェックしてください。

演題募集期間：2022年7月31日(日)17:00まで

次回、第36回大阪府作業療法学会事前企画 ZOOMにて開催

「多様性の時代！！～多様性のあるOTの働き方～」

トピック：けん玉と地域作業療法 ・ 男性の育児休暇 ・ 教員免許と作業療法

開催日：2022年7月29日(金)19:30～

参加費：無料

飲食OK！お酒もOK！「どんなこと話すんだろう？」と思った方！お気軽にご参加ください♪